

認定新規就農者の貸付けに関する意見書

年 月 日

<input type="checkbox"/>	農業協同組合	} 御中
<input type="checkbox"/>	信用農業協同組合連合会	
<input type="checkbox"/>	農林中央金庫 支店	
<input type="checkbox"/>	銀行 店	
<input type="checkbox"/>	信用金庫 店	
<input type="checkbox"/>	信用協同組合 店	
<input type="checkbox"/>	株式会社日本政策金融公庫 支店	

提出先の窓口機関にチェックを入れてください。

意見書作成者 (□にチェックする) 北海道 () 総合振興局・振興局 指導農業士等
 認定農業者 その他 ()
 (氏名) _____

借入希望者	氏 名	
	住 所	

総合意見	<input type="checkbox"/> 経営改善資金計画書を達成する見込みがある <input type="checkbox"/> 経営改善資金計画書を達成する見込みに疑義がある
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

判断根拠	項目	判定	課題の内容等
	適性 意欲		
技術 知識			

課題があると判断される項目がある場合に、その内容や課題克服の見込みを記載する。

「判定欄」の記載は、◎…妥当、○…課題はあるが概ね妥当、△…疑義あり

就農後の 指導支援	(作成支援者等による指導・支援体制)
--------------	--------------------

(記載要領)

- 意見書の作成機関
 本意見書は、都道府県(普及指導センターを含む。)が作成(必要に応じて関係機関の意見を踏まえて作成する場合を含む。)する。また、農業経営の指導等を適切に行うことができる指導農業士等も作成することができる。
- 「総合意見」欄
 借入希望者が、今回の借り入れにより経営改善資金計画書を達成する見込みについて、3の「判定」の欄に「疑義あり」が無い場合は「経営改善資金計画書を達成する見込みがある」に、「疑義あり」が有る場合は「経営改善資金計画書を達成する見込みに疑義がある」の□にチェックを入れる。
- 「判断根拠」欄
 「判定」欄に「疑義あり」がある場合にはその理由を記載する。また、「判定」欄に「疑義あり」が無い場合であっても、課題があると判断する場合は、その内容や課題を克服する見込みを記載する。項目毎の判定にあたっての目線は次のとおり。
 (適性・意欲) 農業を行っていくだけの十分な体力があるか
 新たに経営を開始するにあたっての経営感覚・意欲を有しているか
 地域の一員として協力し、溶け込もうとしているか
 借入希望者に、指導・支援を受ける意思はあるか
 (技術・知識) 研修を受けるなどして、経営改善資金計画書の営農計画を行うだけの基本的な技術・知識を身に付けているか
 労働力、投資規模、経営改善資金計画書の単価・単位あたり取量は、妥当な水準か
- 就農後の指導・支援
 就農後における普及指導センターや研修先、市町村、農業協同組合等による指導・支援についての機関が、どの程度の頻度でそれぞれ技術・経営指導の支援を行うのかなど具体的に記載する。